

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	1979
Jtitle	哲學 No.69 (1979. 3) ,p.136- 136
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000069-0136

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「哲学・第69集」をお届けします。今年度も無事に年2回の刊行ができましたが、これも会員諸兄のご協力の結果であります。皆様への感謝とともに、よりよい「哲学」を目指して一層の努力をしたいと思っております。

* * *

「第69集は掲載本数が5本といささか少なくなっていました。この原因の一つは三田哲学会の財政面の弱さにある訳ですが、来年度からは学生会員の会費が従来の一千元から二千元に引き上げられることになりましたので幾分かは緩和されるものと期待しております。応募論文は今年度は各専攻科から平均して集まりました。執筆者も若手が多く、この傾向が次年度以降も続くことを期待しております。ただ応募論文の内容審査に関し編集面での遅れがあり、「哲学」の質的向上のために適切な改善が必要と思われま

* * *

9月以降、例会が一回、特別例会が一回（連続講演）、公開シンポジウムが一回行われました。例会は当初の予定日が早慶戦の日とぶつかるというアクシデントのため一週間ずれてしまいました。開催日決定のまずさを幹事一同大いに反省しております。特別例会はロンドン大学の石黒英助教授が哲学科の招きで塾で講演されることになり、三田哲学会の例会という形で連続二回行われました。第一回はウィトゲンシュタインとタイプ理論、

第二回はストローソンと心身問題、ということも現代英国の哲学界の中心的問題が主題となり講演後は活発な討論が展開されました。前年度から念願の公開シンポジウムは沢田会長の尽力により12月8日に約三百名の参加者のもとに極めて興味深い議論がなされました。各提題者の四十分程の発表の後参加者との間に真剣な討論が続きました。今回のテーマ「大脳・心・社会」は学生からの希望をもとに決定されたものだけに、参加者も多く、約三時間半におよぶシンポジウムは成功であったと思われま

* * *

次号の「哲学」(第70)集はまだ締切日等が未定ですが、論文の体裁は以下の通りです。

(和文論文の場合)

400字詰原稿用紙で本文40枚、注及び文献リスト8枚、欧文アブストラクト200語、

(欧文論文の場合)

A4タイプ用紙にダブルスペースで19枚、アブストラクト200語。

応募される方は上の規定を守って執筆して下さい。論文応募、例会テーマ等に関してお問い合わせ、ご意見がございましたら幹事にお申し出下されれば幸いです。

(西脇与作)